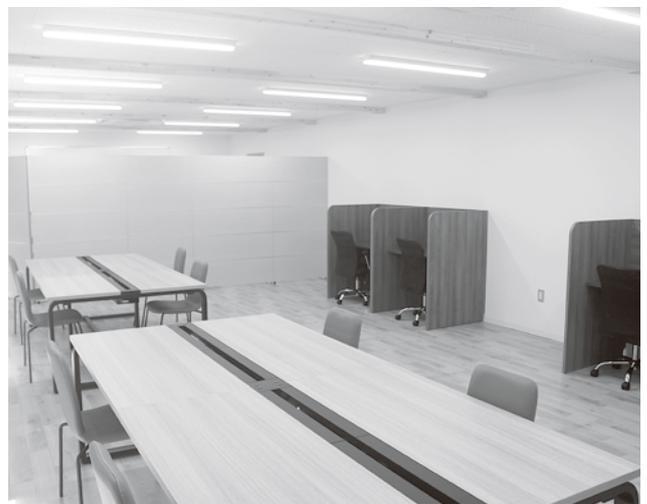


祝南阿蘇村ICT交流センター落成

8月6日に南阿蘇村ICT交流センター（以下「ICT交流センター」という）の落成式が執りおこなわれました。

このICT交流センターは、2022年4月に開校予定である「アイデアITカレッジ阿蘇」（河陽4518番3 旧長陽保健センター）と同敷地内にあり、平成28年熊本地震の際に建設された下野山田木造仮設住宅を利活用して建設された施設です。

情報通信技術（ICT）を活用し、南阿蘇村の抱える地域課題の解決と、ICTに関する人材育成と企業との連携による地域活性化を目的に整備された施設で、具体的な活用方法としては、コワーキングスペース（さまざまな業種・業態の人々が共有する作業スペースや打ち合わせスペース）や企業のサテライトオフィス、ICTを始めとした様々な学習の場などとしての活用が想定されており、年代を問わず、現代の情報化社会における様々な課題に取り組んでいくことを目的とされています。



写真上 バリアフリーを考慮して設計された施設
写真中 自然のなかでのコワーキングスペースとして来賓の皆さまにも大変好評な施設内
写真左 南阿蘇ITバレー協議会長田上秀尚様を始め、関係者に参列いただいた落成式



お祝いの言葉

ICT交流センターを指定管理者として運営いたします学校法人アイデア熊本アジア学園の井手修身です。

ICT交流センターが無事に竣工いたしました。南阿蘇村をはじめ関係各位の皆さま、誠におめでとうございます。

このICT交流センターは、セミナーや教室として利用できる部屋と企業のテレワークや会議に利用できる部屋の2区画が設けられ、無線LAN「Wi-Fi」環境も整備されています。

当学校法人は、ITと観光サービスに従事する人材を育成する専門学校アイデアITカレッジ阿蘇を来年4月に開校しますが、その教室として、多くの学生たちがここで学びます。また、南阿蘇村とITに関する包括連携協定を締結した南阿蘇ITバレー協議会の企業の皆さまが、県内外から訪れて、テレワーク、コワーキングスペースとして活用します。

そして、村民の皆さまには、ICTに関する教室や社会人向けのセミナー、インターネット会議などで幅広く活用していただきたく存じます。このICT交流センターが、地域内外のICTに関する「知の拠点」となるよう運営してまいりますので皆さまどうぞ、お気軽にお越しください。

